

# 2学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 101号 通算 165号

2017. 2. 14 (火) 発行

### 冬・物語 IX

昨日は「2月13日」だったのだけれど、ある2年女子が職員室に来てくれてチョコレートを頂きました。もしかして「本命には前日に渡すの？」って思ったら「明日はスキー授業だから」だそうです。男って(俺って)本当に〇〇だなと。でも普通は、バレンタイン当日にどうするって考えるのに、そういった行事があることを想定して行動できるのは「賢い」と思うのです。実は、その女子とはよく話をするのだけれど、日頃からそのような言動を意識しているのだそうです。それは保護者の方の影響も大きいようなのですが、生きていく上で本当に必要なことの1つだと思うのです。「賢い」は「頭がイイ」とはちょっと違うと思います。先週末は「センタートライアル」だったのだけれど、「頭がイイから点数が取れる」と思うのも少し違うような気もするのです。

極めて私的ですが(山形新聞の映画評論欄の「極私的…」に大きく影響を受けているのだけれど?)頭がイイという表現は「記憶が優れていること」を指す場合があります。たとえば、クイズ番組の東大生VS京大生では、「何でアンタそんなことまで知っているの？」と驚愕します。その理由は「入試に出るから覚えた」では無く「興味があったから調べた」という解答を聞くことが多々あります。つまり、学びに対しての強い興味関心を持ち、それを調べて解決する行動力を備えているのだと思うのです。東大・京大がスゴイ!ということではありませんが、米興3年間で高い学力を有した先輩方に共通することの1つです。また、共通点のもう一つは「大学受験をよく研究していた」ということです。それは「センター試験内容を熟知していた」かつ「志望大学の個別試験を分析していた」ということです。例えば諸君は、センター試験の重要性は知っていたと思いますが、果たしてセンターチャレンジまでに「どのようなものか」を自分で調べていたでしょうか。それは先生が手取り足取り教えてくれると思って(または、そのように思い込もうとして)いませんでしたか。過去のセンター試験やその解答、解答解説の映像さえネット上に無数にあるわけです。アナタのスマホにその履歴はありますか。また、志望宣言書に書いた「第一志望の大学の問題」を何年分見えていますか。ネットにはもちろんですが、進路指導室前の書架にズラリと並んでいるじゃないですか。体育館での部活の帰りに、お昼休みに一読したことがありますか。実は私が一番必要だと思うのはそのような「想像力と実行力」なのです。だから、センチャレで高得点を取った人を「頭がイイから」と評するだけではいけないのです。つまり「評論家」になってはダメだと思うのです。そこで思いを馳せるのです。その人は、普段からどのように授業を受けているのか、どのような家庭学習をしているのか、朝や休み時間や部活動後をどのように過ごしているのか。キチンと実践している人ほど、自分のことを声高に誇りませんし、他者に押し付けることなどしません。だから「本当のこと」は常に凝視して想像しないとわからないのです。話を戻します。「14日はスキー授業だから、前日にチョコ渡すこと」とは言いませんけれど、誰が教えてくれなくとも「先を見て自分で判断して行動すること」を2年生諸君に求めます。誰かからの何かを待つだけの人になってはいけません。今日で「勝負の2月」は半分終了です。学びの成果が出ないことの「理由」を考えてみましょう。

ついに「理数科台湾海外研修」です!

「いつかはこの日が来る」はと書いていたけれど明日出発とはね。実は、どのような研修なのかを普通科諸君は知らないでしょう。せめて思いだけでも「ワタシを台湾に連れてって♡」ということで、理数科の壮行式を、普通科の紙上研修をしましょう。フレイフレイリースーウーカー!

旅程概要(帰って来いよ!)

月日	時間	実施内容
2/15 (水)	6:00 12:00 14:35 17:45 20:00	<b>米沢駅東口集合・出発</b> (5:20 赤湯イオンタウン集合、5:30 米織観光センター集合) 成田空港着(到着後、搭乗手続き) 成田空港発(中華航空 CI101 便) 台北(桃園) 空港へ 台北空港着(入国手続き後、貸切バスにて移動、軽夕食) ホテル到着「六福客棧」(台北市中山區長春路 168 號) 3泊
2/16 (木)	8:30 9:00 17:20 21:00	朝食後にホテルを出発(貸切バスにて移動) 国立台湾師範大学附属高級中学研修(台北市大安區信義路三段 143 號) ※8:50 到着 台北 101 訪問 (貸切バスにて移動・夕食) ホテル到着
2/17 (金)	8:30 10:00 14:30 16:00 20:30	朝食後にホテルを出発し、新竹地区へ(貸切バスにて移動) 国立清華大学研修(新竹市光復路 2 段 101 番) (大学院生との英語によるランチミーティング 後、貸切バスにて移動) 工業技術研究院(ITRI)訪問(終了後、貸切バスで移動) (貸切バスにて移動・夕食) ホテル到着
2/18 (土)	7:15 8:00 9:30 13:30 14:30 19:30	ホテル出発(貸切バスにて移動 朝食については未定) 台北空港着(到着後、出国手続き) 台北空港発(中華航空 CI100 便) 成田空港へ 成田空港着(到着後、帰国手続き) (貸切バスにて移動・軽夕食) <b>19:30 米沢駅東口到着</b> (20:00 米織観光センター、20:30 赤湯イオンタウン) 時刻は予定

まず、ここで学生注目は「朝6時に米沢駅東口集合・出発」という事実。普通科諸君は思い出そう。12月の関西研修の出発の朝「理数科諸君が(一部の寝坊を除き)見送りに来てくれたこと」そして、奥羽本線沿いの土手から手を振ってくれたこと(見なかった普通科多数?)。もう、これ以上は書かない。あの矢沢永吉様も「言葉にすれば嘘になる」と言っていたから。でも「帰りは土曜日の19:30に米沢駅東口到着」この2つは**太字下線**にしておこう。しつこい様だけれど、東口は米沢工業側、西口は米沢東側だから間違ったという言い訳無し。「大事なことは2回言う」はちょっとした2学年ブームだけれど、「大事なことは誰も教えてくれない」とか「大事なことは自分で考えて行動すること」を左ページで俺達は学んだ。「朝6時30分開店の駅のおそば屋で一緒に食べてみないかツアー」只今参加者募集中!とか言いながら、起きたら7時だったらヤバイネ **終**

## 祝 第7回 マックス「心のホッチキス・ストーリー」入賞おめでとう！

速報です。みんなも使っている（だろう）ホッチキスの「マックス株式会社」が、上記のような企画で全国から公募しました。募集内容は「あなたが今、”心のホッチキス”を使ってとどめておきたいことや、つないでおきたいこと」です。（前置き長いヨ〜！）全国より最年少7歳から最年長93歳まで12,897件の応募の中から、ある2年女子が見事！「マックス賞」の栄冠に輝きました。おめでとう。応募のペンネームは「あみこさん」となっていましたのでそのままにしておきますね？さて、まずはその受賞作を紹介します。

私が家に帰ってから冷蔵庫を開けてみるとヨーグルトが二つあったり、ケチャップが二本あったりというのはよくある。私はずっと疑問に思っていたのだが、最近その理由がわかった。それは父と母が別々に買い物をするようになったから。どこまで二人の考えていることは同じなのでしょう。前の晩に冷蔵庫を開けて、ケチャップが切れていることにそれぞれが気づいて次の日に同じものを買ってきちゃうのならまだわかる。だが、その日に食べたいと思って買って来たお菓子まで同じだった時はさすがに嘖然とする。父と母はそれを嫌がってみせるが顔はいつも笑っている。

先日、キッチンに行くとテーブルの上にマヨネーズが二本あった。しかしよく見ると今回は少し違う。片方はいつもと同じだが、もう片方はカロリーーフ。きっと母は父の体を気遣ってカロリーーフの方を買ってきたのだろう。思わず吹き出してしまった。

素敵なエッセイありがとう2年2組のW.Aさん！（つい書いてしまった。ゴメンナサイ？）今後も、何か思うことがあったら学年通信に投稿して欲しいな。それはWAさんに限らず、2年生諸君や保護者の方にもお願いします。先週末は、米興HPをブックマークして愛読している東根の中高一貫校に勤務する同業者とお会いして飲みました。また、私の知らない読者の方も全国に少数ながらおられることでしょう。そういった人達のためにも、私の文章ではつまらないでしょうから、皆さんで盛り上げて頂ければ幸いです。ちなみに、入賞したWAさんには「〇円分の図書券と〇円相当の文房具」が副賞として贈られるそうです。その文房具には100%「ホッチキス」入っていることでしょうね。さらに、この募集内容を見た進路指導課のタツペイ先生は「とどめておきたいことや、つないでおきたいことは、瞬間的に10個くらい思い浮かぶ」と遠くを見つめて呟いておられました。まさに私の代弁者です。と、ここで私のホッチキスの思い出を書いてみようと思う。

初めて務めた高校の、隣の席の先生はとても変わっていた。空き時間には、いつも「葉巻」を燻らせていた。あの頃は、職員室で煙草を吸える時代だったけれど、葉巻の香りは強烈なので先生方から「K先生臭い！」と文句を言われていた。そういえば、米興の旧校舎の職員室もそうだった。学年主任のM先生はじめ「先生って煙草を吸う人達」ってほどに喫煙率が高かった。説教は正座させられて煙をかけられる、何てことは無かったような気がするけれど、先生を思い出すとき、いつもそこに煙草の香りが漂う。K先生からは「朝は、一番に来てお湯を沸かしてお茶を入れろ。先生方の机を拭け。若い者が保護者からの電話を取れよ」と教わった。だけど、K先生自ら実践しておられたので、そういうものだと思ってマネしていると多くの先生方から声をかけて貰えるようになった。K先生は数学の課題を手作りしていた。手書きで原稿を書き印刷してホッチキスで止めた。そして、できあがった冊子を1つ1つ丁寧に木槌で叩いていた。不思議に思ってお聞きすると「生徒が針で怪我しない様にな」と微笑んだ。今、煙草を吸う先生も少なくなったけれど、口煩く木槌で打つ先生もいなくなったらちょっと寂しいので私は叩く。

## 冬・物語 X

今号は前号の反省で作られている。取りあえず節目となる100号が、誤字脱字だらけの上、体裁も最低、しかも紙面は片面だけという情けなさ。「最近、アンタ弛んでんじゃない！」と言って欲しい位に反省していて、実は米興HPへの掲載も見送ろうか迷ったのでした。でも、今年は（？）今のところコンプリートに掲載できているので、欠番は避けたいとも思った結果なのです。欠番なら欠番らしく、昨年「南北アメリカ縦断旅行」並みならカッコイイしプレミアムなのだけれどね。（実は個人的にはこのシリーズが一番好きでタマに読む。いつか日の目を見ることはあるのか？）そういった反省に苛まれていたとき、いつみ先生から「WAの入賞、学年通信でどうですか？」というお誘いを頂いて「やってやろうじゃねーか！」と燃えて打ちまくった原稿がコレなわけです。物語IX「賢いと頭イイ」は、書き出し当初の考えとは全く異なる流れで進んでしまい、結論らしい結論は何も無く終わっているのは実は恥ずかしい。勢いで書くところなるという負の見本なのだけれど、「チョコ1つ」でここまで書いたことは評価して欲しい。また理数科は「行く前に激励したい」と思っていてやっとなんかカッコダケという感じ。準備が足らなくて、こちらでも申し訳無く思う次第。この101号で唯一希望の光はWAさん。おそらく、この文章は生徒諸君よりも「保護者の方々」の心を陰に陽に揺さぶることになろうかと思う。入学したときから只者で無い！と睨んでいたけれどWAに切られてホッチキスでつながれましたワ、私。また、ホッチキスで思い出した恩師のK先生とM先生のこと。一応「マックス様」の名誉のために書いておきますが、あの頃ってというのは1,980年代のこと。ホッチキスや芯の性能も今よりずっと低く、さらに厚紙の表紙を使うので針が上手に畳めなかった頃の話。今は高性能で手を傷めることなど一切ありませんから、木槌で打たなくともイイね！というオチなのです。でも、そんな時代を懐かしくも思います。さて、今日は2年1〜3組の「高校生活最後のスキー授業」でした。しかも、天元台ではちょっとない位の晴天。私は理数科&理系の行いは文系生と比べると？なんだけれど、きっと、知らない所でイイ事してくれている人がいるので晴れたのでしょう。理数科女子のスキー写真が天元台から届いたので紹介しますね。その素敵な笑顔で台湾の男子生徒をメロメロにしてください！ Have a nice trip！「イイ旅を」

